

NOW 市政の動き・自分史

city government now
一宮市政報告新聞
一宮市議会議員 岡本将嗣

一宮市議会
6月定例議会
6月2日開会、6月27日閉会



令和5年度
6月補正予算・規模



七タルックで本会議、七夕まつりのPR 兼ねて

新型コロナウイルス感染症法上の分類が5類に移行し、約3年に及んだ感染症との闘いも、ようやく終わりが見えてまいりました。今年のゴールデンウィークは、全国各地でコロナ前まで人出が戻ったところが多かったとのこと。市内で

も各種イベントは多くの方で賑わいを見せ、かつての「日常」が戻ってくる、そんな期待で高揚している市民の皆様の熱気を感じております。

しかし、感染症の不安は完全に無くなったわけではありません。感染症の拡大で影響を受けた市民生活や事業を行っている方の経営環境は、いまだ厳しい状況が続いております。今後も引き続き、感染症対策と経済対策にしっかりと取り組んでまいります。

補正予算につきましては、今回、一般会計において一部、先議をしました。

議案第39号は、物価高騰の影響を大きく受けている世帯に対する支援であります。国の施策による住民税非課税世帯のほか、一宮市独自の支援として住民税の均等割りのみ課税されている世帯を対象に加え、1世帯当たり3万円の現金を支給します。対象世帯数は約47,000で、全世帯数 約167,000 (令和5年5月1日時点 166,741世帯)のうち、およそ3割(28.2%)の世帯が対象となります。議案第40号については、まず、

子ども医療費について子育て世代の経済的負担の軽減のため、入院医療費を無料とする年齢を18歳まで拡大する経費を計上しました。

また、感染症対策も含めて、引き続き、国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して様々な事業に取り組んでまいります。物価高騰への支援として、水道基本料金を2か月間無料とする経費や、保育園・学校の給食食材費の購入費用の補てんに要する経費などを計上しました。他にも、これまでも実施しております、キヤッシュレス決済時にポイント還元する事業を尾州フェスティバル開催時期に合わせて11月の1か月間実施する経費、名鉄バスが発行する高齢者向け定期券の購入費の補助、



宅配ボックスの補助

宅配ボックスの設置補助、省エネ家電製品の買い替え補助、ごみボックスの設置補助なども予算計上し

ました。



再度復活、ごみステーション補助

他にも、緊急時にすばやく連絡ができるよう、小中学校の教室や公立保育園の保育室などに内線電話を設置し、子どもたちの安全安心のための経費も計上しました。

それらの結果、補正予算の規模は、一般会計で、議案第39・40号合わせて増額 31億9,528万3千円、企業会計で増額 502万2千円、全会計では増額、32億30万5千円の補正となりました。

単行議案の主なもの。

次に単行議案として、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、食費等の物価高騰に直面し、影響を受ける所得の低い子育て世帯に対する緊急支援策として、対象児童1人当たり5万円を支給する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業の予算措置について、いち早く対象市民の皆さんに給付するた

経験を
力に変えて
有言実行



岡本 将嗣

MASASHI OKAMOTO



このニュースは、日常の議員活動や議会・市政の報告を目的として、話題となっている情報等をピックアップし、不定期に発行するものです。

発行所：岡本まさし事務所
住所：一宮市松降1-8-5
連絡先：0586-85-8034

HP <http://masashi-okamoto.com>

め、専決処分いたしました。

それから条例の一部改正案件では、補正予算でも触れました、子育て世代の負担軽減のため実施する入院医療費の無償化について18歳まで拡大する「一宮市子ども医療費の助成に関する条例」や令和6年度から導入される森林環境税の徴収方法等に係る規定の整備や電気自動車等の軽自動車税グリーン化特例の延長などを行う「一宮市市税条例及び一宮市都市計画税条例」の一部改正をいたしました。

また、浸水被害に対応するため、多加木公園流域貯留施設築造工事の請負契約の締結、いちのみや未来エネルギー株式会社の経営状況の報告などがありました。

■総務委員会

宅配ボックス設置による接触機会や環境負荷の低減の効果を検証し今後も継続していくのか検討していくとの答弁。交付額が予算に達した時点で終了するような補助金の場合、不公平感が出ないように事業開始決定後、速やかに周知されたいとの要望。

■福祉健康委員会

保育園等給食食材高騰対策事業
保食等給食食材高騰対策事業
に関し、1食当たりの補助額と事業

実施予定期間はいつなのかとの質疑に対し、公立保育園については本年7月から令和6年3月まで保護者への負担増はせず、賄い材料費を1食当たり40円増額し、また、私立保育園等については遡って本年4月から9月までの半年間、1食当たり60円を補助する予定との答弁。



給食食材高騰対策事業、負担軽減目的

■経済教育委員会

ごみボックス設置補助事業について、令和4年度は設置に関する条件などについて問い合わせや現地確認などがあったが、対策は考えているのかとの質疑に、今年度は申請手続きの簡略化するとともに、現地確認や事務処理等、ごみ集積場所に関する指導経験を有する会計年度任用職

員を2名へ増員して対応させ、迅速な支給に努めるとの答弁。



TGCファッションショーのイベント

尾州フェスティバル開催事業負担金に関し、開催時間が夕刻からに変更となったのはなぜ、との質疑に対し当局より、開催予定の11月は、メイン会場である真清田神社が七五三の時期で多くの参拝者が見込まれるため、混乱を避ける目的で開催時刻を変更したとの答弁。

■建設水道委員会

名鉄バスのシルバークラス65、ゴールドパス70の購入費用の一部をしが負担する。この事業は路線の維持や利用者の確保のみではなく、高齢者や運転免許返納者のお出かけ支援といった福祉施策の側面もある。市全体のまちづくりとしての交

通施策を検討する。



名鉄バスの高齢者向け定期券購入一部補助

特別委員会報告

●名岐道路・スマートインターチェンジ推進特別委員会

名岐道路の整備により大江用水付近の横断ボックスを閉鎖する計画について、地元住民などからは存続を望む声もあるので、その必要性について、今後検討するよう要望が出された。

スマートインターチェンジの検討は、産業拠点における基盤整備の計画は、民間主導で行いながら土地所有者の方々と一緒にゾーニングなどについて協議していきたいとの答弁がありました。 以上

岡本将嗣のアルバム

一宮市消防団操法大会が先日行われ、来月8月5日(土)に県大会として、第68回愛知県消防操法大会が新城総合公園町議上にて開催されます。真清南分団の活躍を期待いたします。

一宮市議会6月議会の閉会日には、一宮市の七夕まつりのPRのために、七夕ルックにて会議を行います。今年はコロナ禍前と同様の内容での開催を予定しております。会派メンバー全員の一枚です。



一宮市消防団 真清南分団の選手



毎年恒例になった、七夕ルックで